

# くーちゃんの部屋

Vol.4 2018.2.8



こんな感じで展示されていますよ

こんにちは。くじらのくーちゃんです。

今回は食品サンプルの紹介をしちゃいます。

右のお皿は、明治時代、伊藤博文公が食した解禁当時のふく刺しを春帆楼が再現したものなんだ。

「ピタ引き」といって、一晩しめずに、活きを捌いて、すぐにひいたものだよ。

丸いお皿は現代の菊盛だよ。サンプルだから食べられないけど、美味しそうに見えるね。



ぼく、こくーちゃん。

春帆楼は下関にある由緒ある割烹旅館だよ。

明治20年総理大臣職にあった伊藤公が春帆楼に泊まりに来た時に、時化でお出しする魚がなかったため、豊臣秀吉の時代以降禁制だったふくを出したんだ。その美味しさを絶賛した伊藤公は、翌明治21年に当時の山口県令に命じてふく食を解禁したんだ。

その当時のものを再現したのが上のお皿だよ。

春帆楼はふく料理公許第1号の店となったんだ。

